

J Aわかやま 分析センター

当センターは、1996年にバイオテクノロジーを駆使し和歌山県農業の発展に貢献することを目的に設立されました。

現在、①本県産農産物の安全性を科学的に担保するため残留農薬分析を実施し、②土壌診断に基づいた適正な施肥推進のため土壌分析を実施、③迅速かつ高精度な遺伝子診断技術である LAMP 法による植物ウイルス・ウィロイド病害検定を実施、④独自の植物組織培養技術を活かしたメリクロン苗の生産を行っています。

業務内容

残留農薬分析

- ① 産農産物の「安全・安心」の確保
- ② 安全性の科学的担保についての検討 ※農薬散布器具の洗浄方法、ドリフト対策

残留農薬分析の流れ

①サンプル搬入

検体（青果等約 1 kg）が搬入されます（年間約1,000検体）

②前処理

検体を粉砕・均一化して精製し分析に不必要な物質を取り除きます

③分析・解析

抽出された液を専用機器に導入し残留農薬の濃度を測定します

④結果報告

結果を作成し、各所に提出します



土壌分析

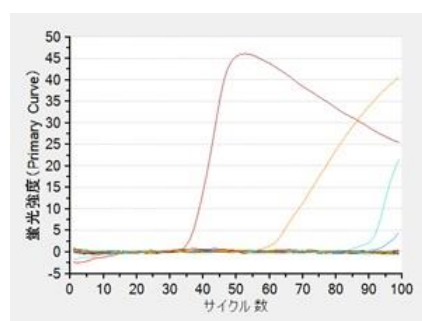
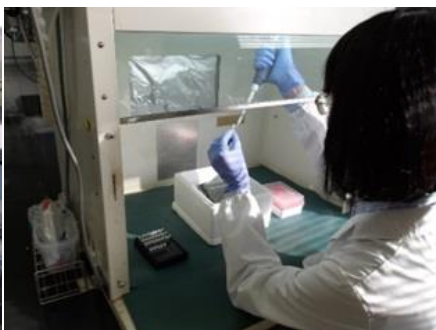
①土壌診断に基づいた適正な施肥を推進

②作物の収量・品質の安定、環境負荷ならびに施肥コストを低減



病害検定

①罹病の有無を判定し、健全な種苗と農産物の安定生産



苗生産

①安全な優良種苗の生産

※組織培養によるウイルス・ウイロイドフリー化、大量増殖技術を用いた苗生産



ご質問など

- ・検査可能農薬、検定可能病害、苗生産対応種、費用などのご依頼について
- ・県外 J A 様など員外からの対応も可能です（土壌分析は県内生産者のみ受付となります）

ご意見、ご質問などございましたら、以下までご連絡下さい。

〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月 396-1

J A わかやま 営農部 生産振興課 分析センター(bunseki-000@ja-wakayama.or.jp)

TEL 0736-66-2016 FAX 0736-66-2079